



Mozart

Infiniy

取扱説明書

はじめに

この度は、Vienna Acoustics / Mozart Infinity をご購入頂き誠に有難うございます。
このスピーカーの性能をフルに発揮させるため、この取扱説明書を注意深く読み、セットアップの方法をご活用下さい。最も重要なことは、音楽を聴くこと、楽しむことです。お客様のリスニング環境はそれぞれ異なり、わずかな調整で大きく変わることがございます。音楽性豊かなこのスピーカーを末永くお楽しみください。



警告

感電する恐れがあります、絶対に開けないでください。

感電の危険を避けるため、アクティブスピーカーの部品（特にリアパネルやネットワーク部）を取り外さないでください。内部に修理可能な部品はありません、修理に関しては必ず販売店または株式会社ナスペックにご相談ください。

開梱

箱から商品を取り出して、中身を確認してください。

欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。

本体	2台	付属金具一式/下記参照	1式
グリル	2枚	電源ケーブル	1本
電源ケーブル用 2P/3P 変換プラグ	1個	スピーカーケーブル(アクティブ/パッシブ接続用)	1本
取扱説明書 (本紙)	1部	保証書	1部
Roon 無料トライアルクーポン	1部		

付属金具の確認

以下の付属品を確認して、ベース金具やスパイクを取り付けて下さい。

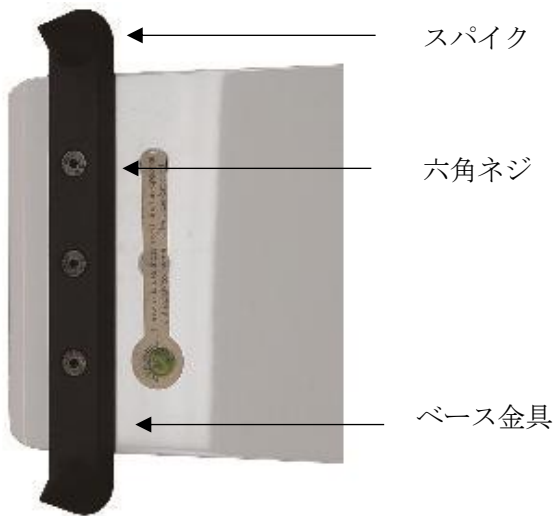
ベース金具	2個	スパイク	4個
スパイク受け	4個	六角ネジ	6個
六角レンチ	1本	手袋	1組

※六角レンチは1ペアに1つです。

スパイクとスパイク受け

スピーカーにはスパイクが付属しています。性能を発揮させるために、かならずスパイクをお使いください。またスパイクを調整することにより、がたつきの無い安定した設置が出来るようになっていきます。床と水平となるようにスパイクをがたつきがなくなるまで調整してください。スパイク設置が難しい環境の場合は、付属のスパイク受けを使用してください。

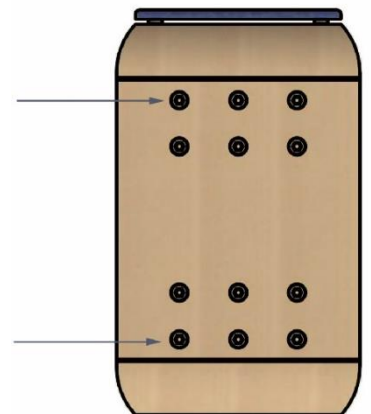
スパイク・金具の取付



スピーカー底面に、付属の六角ネジでベース金具を固定します。このときネジに緩みがあると、がたつきの原因になりますので、しっかり固定してください。ベース金具は前後に2個取り付けます。ベース金具を取り付けたら、四隅の穴にスパイクを取り付けます。

ベース金具の取り付け位置

矢印の位置のネジ穴にベース金具を使用してください。内側のネジ穴はオプションのアウトリガーとカウンターナット・スパイク付きのベース金具を使用する場合にのみ使います。



設置

部屋の音響やスピーカーの配置は、音質に重要な影響を与えます。お使いのスピーカーのための最適な設置位置を見つけるため、以下の項目を参考にしてください。

【広い部屋の場合】

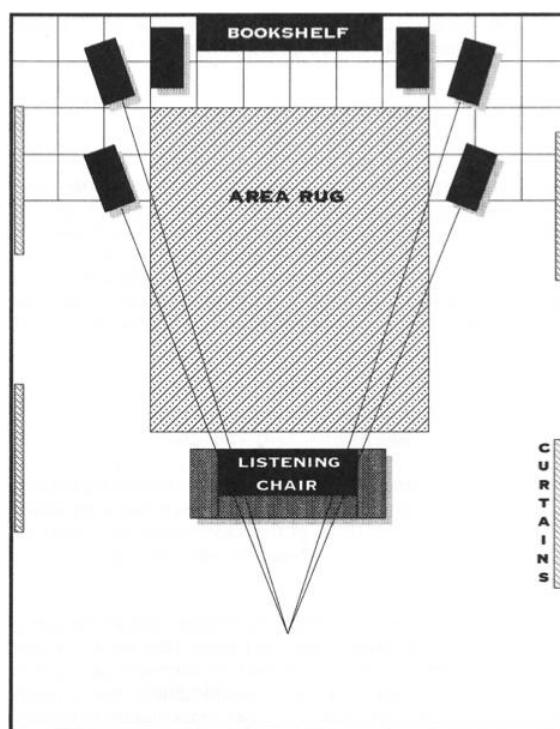
部屋が大きく、スペースが十分にある場合は、スピーカーの後ろから背後の壁まで 1 メートル以上離します。スピーカーを前後に少しずつ動かして、最良なバランスになる位置を探します。後ろの壁に近かったり、部屋の隅に設置すると、中低域が誇張されたり透明性や精度が奪われたりします。

【狭い部屋の場合】

壁から十分な間隔を取れない場所に設置する場合は、正面向きに近い浅めのセッティングをお勧めいたします。背後の壁に近い場合は、少しの変化が、音に大きく影響を及ぼしますので、慎重にセッティングを行ってください。

【スピーカーの間隔とトーン（内向き設置）】

L/R のスピーカー間隔については、目安として部屋の横幅 70%程度の距離で設置します。スピーカーの間隔が狭すぎると、音像がぼやけたり 2 重になったりします。逆に間隔が広すぎると、左右の繋がりが悪くなってしまいます。音像が正確に定位するよう少しずつ間隔を広げたり狭めたりして、慎重に調整してください。



スピーカーの L / R 選択

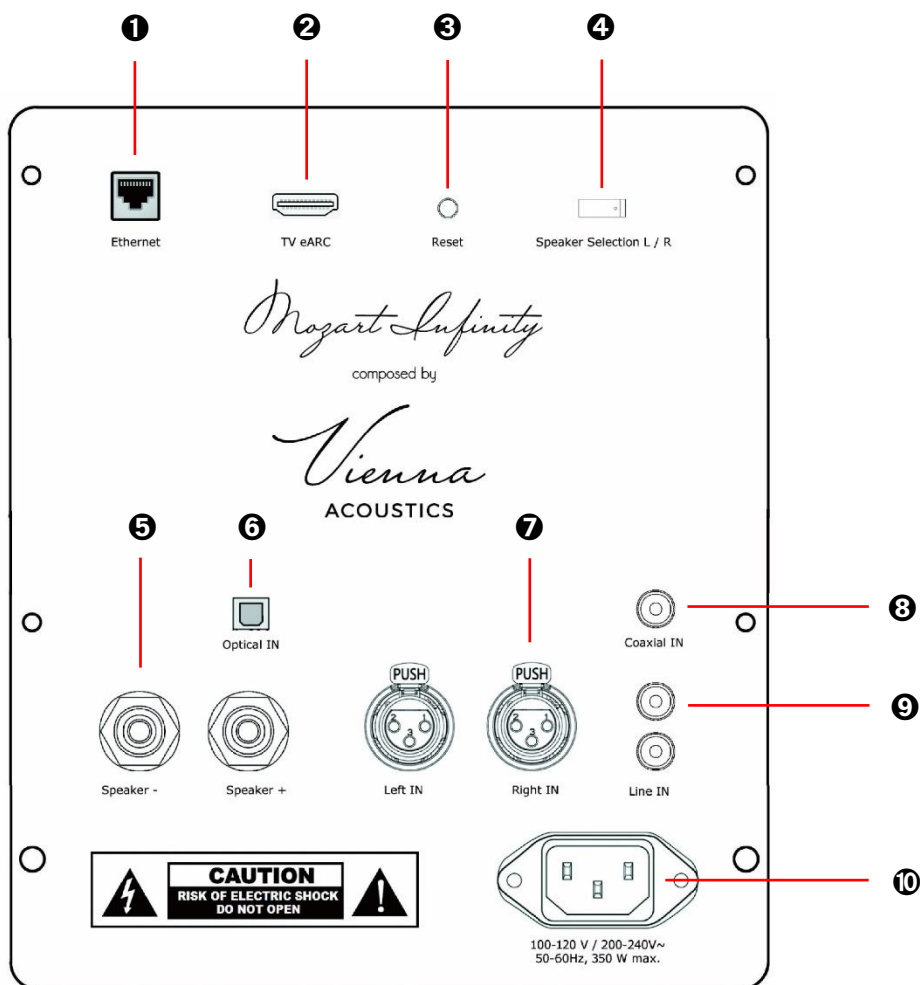
設置が完了しましたら、アクティブ・スピーカーのリア・プレートにあるスピーカー L/R 選択スイッチが正しい位置にあることを確認してください。アクティブスピーカーを右側に設置したい場合は、スイッチが R の位置にあることを確認してください。アクティブスピーカーを左側に設置したい場合は、L の位置を選択してください。

スピーカー選択の現在のステータスは、Vienna Acoustics アプリ(以下 VA アプリ)でも確認できます。

> 設定 > オーディオ > 左/右チャンネル選択

各部説明

アクティブ側 リアパネル



①	Ethernet	イーサネットケーブル接続口
②	TV eARC	eARC HDMI ケーブル接続端子
③	RESET	ファクトリーリセットボタン
④	Speaker Selection L / R	スピーカー L / R 選択スイッチ
⑤	Speaker - / +	スピーカー出カターミナル
⑥	Optical IN	TOSLINK OPTICAL 光デジタル入力端子
⑦	LINE IN XLR	XLR (バランス) アナログ入力端子
⑧	Coaxial IN	COAXIAL 同軸 デジタル入力端子
⑨	LINE IN RCA	RCA (アンバランス) アナログ入力端子
⑩	AC INPUT	IEC 電源コード差込口

アクティブ側天面 タッチパネル



左	ボリュームダウン
中	スタンバイモード
右	ボリュームアップ

注：タッチパネルの感度は非常に高いため
押さずに優しく触れるだけで反応します。

使用方法

■ Prepare 準備する

iOS の場合は App Store、Android の場合は Google Play Store から Vienna Acoustics アプリ(以下 VA アプリ)をダウンロードしてください。



※機器を Wi-Fi で接続をする場合には、VA アプリを開く前に必ず Bluetooth の設定を ON にしてください。

VA アプリの詳細は p9 をご参照ください。

■ Connecting Mains Power 接続方法

(1) 本体を所定の場所に設置します。

(2) アクティブ側スピーカーとパッシブ側スピーカーを付属のスピーカーケーブルで接続します。(⑤)

ウィーン・アコースティクスの入力端子は、バナナプラグ、スペードプラグ、または裸線の接続に対応するよう設計されています。スピーカーケーブルと入力端子間の接触不良は音質の劣化につながりますので、確実に締まっていることを確認してください。ケーブルを接続する際は、必ず本体の電源ケーブルを抜いた状態で接続してください。接続不良やケーブルがショートしていない事を確認してから本体の電源を入れてください。ケーブルや端子の酸化は音質の低下につながりますので、定期的なクリーニングをお勧めします。

(3) 付属の電源ケーブルを、リアパネルの電源コード差込口(⑩)に挿入してください。

その後、壁面の電源コンセントに接続します。付属の電源ケーブル用 2P/3P 変換プラグをご使用ください。

■ Switching On 起動方法

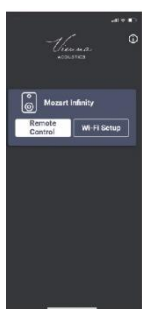
電源ケーブルを接続すると短い音楽がなり、自動で電源が ON の状態になります。

■ Connect to a Network ネットワークに接続する

ネットワークは Wi-Fi、イーサネットケーブルのいずれかで接続可能です。

<Wi-Fi で接続する> ※VA アプリを開く前に必ず Bluetooth の設定を ON にしてください。

(1) VA アプリを開くと以下の画面になりますので、“Wi-Fi Setup”を選択します。



(2) アクセスポイントを選択し、パスワードを入力します。

(3) 次の画面でお使いの Mozart Infinity の名前を変更できます。 ※この設定は後からでも変更・実行可能です。

(4) これで初期設定は完了です、“Continue”ボタンを押して操作を完了してください。

<イーサネットケーブルで接続する>

イーサネットケーブル接続口(⑪)に LAN ケーブルを接続すると、自動的にネットワークに接続されます。

■ Connecting with HDMI cable HDMI ケーブルで接続する

スピーカーは、お使いのテレビの eARC HDMI 出力と互換性があり、HDMI ケーブルで接続ができます。HDMI 接続をする前に、スピーカーは必ずお使いのローカルネットワークに接続してください。 > p5. [Connect to a Network ネットワークに接続する](#)

(1) お使いのテレビの HDMI 出力ポートとアクティブ側スピーカーのリアパネルにある eARC HDMI ケーブル接続端子(②)を HDMI ケーブルで接続します。

(2) お使いのテレビの音声出力をテレビから外部音源に変更してください。

※お使いのテレビによって設定方法が異なりますので、テレビの取扱説明書をご参照ください。

(3) VA アプリのメインページにある矢印マーク(ソース選択ボタン)をタップし、TV(eARC)を選択してください。



■ Connect Inputs オーディオ機器と接続する

本機は、リアパネルの input(入力)に、アナログソースと、デジタルソースを接続することができます。

<アナログ入力>

- ・ XLR (バランス) ケーブルを機器に接続します。(⑦)
- ・ RCA (アンバランス) ケーブルを機器に接続します。(⑧)

<デジタル入力>

- ・ 光ケーブルを使用し、デジタル光ソースを TOSLINK OPTICAL 光デジタル入力端子(⑨)に接続します。
- ・ デジタル RCA(COAX)ケーブルを使用し、デジタル同軸ソースを COAXIAL 同軸 デジタル入力端子(⑩)に接続します。

接続後、VA アプリのメインページにある矢印マーク(ソース選択ボタン)をタップし、ソースを選択してください。



■ Listen to music 音楽を聴く

全体の中で最も重要な時間は、ブレイクインプロセスの最初の 50 時間です。この間だけは、あまり大きな音量で再生しないことが重要です。この間は通常の音量にすることを心がけて下さい。

このプロセスを完了するための最も簡単な方法は、CD をリピート状態にして、数日間スピーカーを鳴らすことです。

スピーカーには可動部分が多くあり、これらの部分が滑らかに作動するようになるにはある程度の時間が必要です。最初の 50 時間の再生で大きく変わり、300 時間程度で最良の状態になるでしょう。

<ストリーミングサービスを利用する>

本機は Roon, TIDAL Connect, Sportify などの音楽サービスに対応しており、デスクトップやモバイルデバイスの Roon / Tidal / Spotify アプリをコントローラーとして使用し、ネットワーク経由で音楽サービスから音楽を直接ストリーミングすることができます。

<AirPlay を使ってストリーミングする>

AirPlay を使用して、Apple デバイスから本機にネットワーク経由で音声データを送信します。AirPlay は Apple デバイスでのみ利用可能です。

<Airable Radio / Podcasts を利用する>

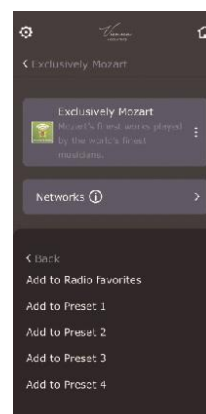
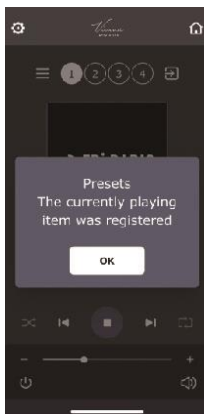
本機は Airable Radio / Podcasts に対応しており、VA アプリから直接利用できます。

VA アプリのメインページ、数字の左の三本線アイコンをタップしてください。

アプリのメインページにある 4 つの数個ボタンを、以下のいずれかの方法でお気に入りのラジオまたはポッドキャスト局に割り当てることができます。放送局を検索するには、“Serch”で検索してください。

(1) 選んだ放送局を再生し、メインページに戻って①～④のボタンのうち一つを約 2 秒間押し続けると保存されます。

(2) 放送局の右側の三点メニューをタップし、選択した放送局にボタンを割り当ててください。



<DLNA / UPnP を利用する>

・UPnP プレイヤー

本機を UPnP プレイヤーとして使用するには、同じネットワーク上で動作する DLNA / UPnP サーバーが必要です。本機で UPnP 再生を開始するには、VA アプリのメインページ、数字の左の三本線アイコンをタップして UPnP を選ぶと UPnP サーバーの名前が表示されますので、再生したいトラックを選択してください。

・UPnP Media Renderer

DLNA/UPnP サーバーと DLNA UPnP コントロールポイント機器を本機と同じネットワークに接続してください。

Windows Media Player が動作する Windows PC を使用する方法もあります。Windows PC はバックグラウンドで DLNA/UPnP サーバーを実行し、PC に保存されたオーディオコンテンツを提供し、Windows Media Player の UI がコントロールポイントとして機能します。

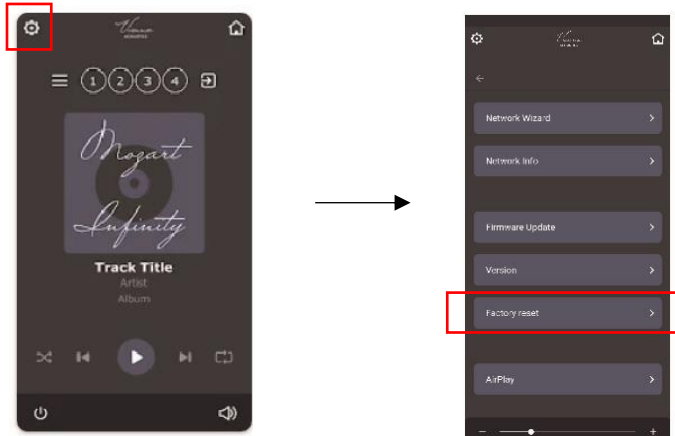
オーディオを再生するには、Windows Media Player UI で再生するトラックを右クリックし、カーソルを "Cast to device "の項目に合わせます。本機と同じネットワークに接続されている DLNA/UPnP サーバーや DLNA UPnP コントロールポイント機器を含む、接続機器のリストが表示されます。

■ Using the Controls 操作方法

(1) ファクトリーリセット

本機をファクトリーリセットするには2つの方法があります。

- ・アクティブ側のスピーカーのリアパネルにファクトリーリセットボタン(③)があります。LEDの赤い点滅が止まるまで、リセットボタンを押し続けてください。
- ・アプリのメインページ左上の歯車ボタンをタッチして設定画面を開いてください。



(2) LED ステータス

アクティブ側スピーカーのリアパネルの eARC HDMI ケーブル接続端子(②)とファクトリーリセットボタン(③)の間に LED インジケータがあり、スピーカーの状態を表示しています。

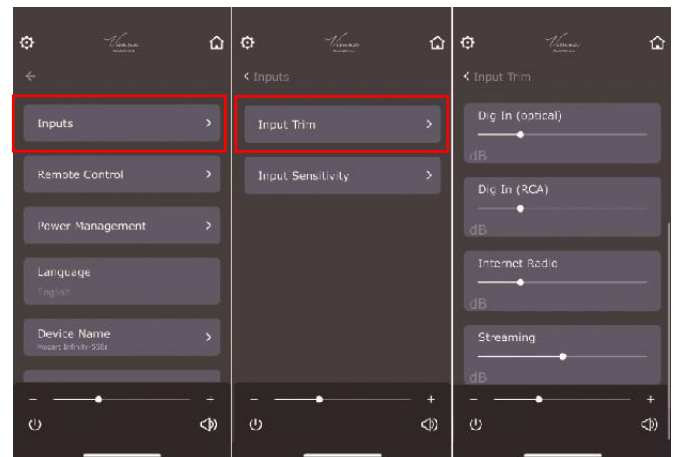
- 緑の点滅：オフモードからの(再)起動、ファクトリーリセット後の再起動
- 赤点灯：スタンバイ
- 緑点灯：動作モード
- 赤の点滅：ファクトリーリセット実行中 ※点滅中はボタンを押し続けてください

(3) 音量の変更

最大限のサウンドパフォーマンスを得るためには、設定ページのボリュームレベルを最大に設定し、通常のボリュームコントロールと Input Trim 機能で調整/微調整することをお勧めします。

注意： ※特に TV やレシーバーなどを接続する場合
ソースによって音量レベルが異なるため、使用するすべての入力/サービスによって、それぞれ音量を設定/調整することをお勧めします。

通常のボリュームコントロールは、アプリ画面下方の“ボリュームコントロールバー”もしくは本体天面のタッチパネルの左右のボタン(左：ダウン / 右：アップ)で行ってください。

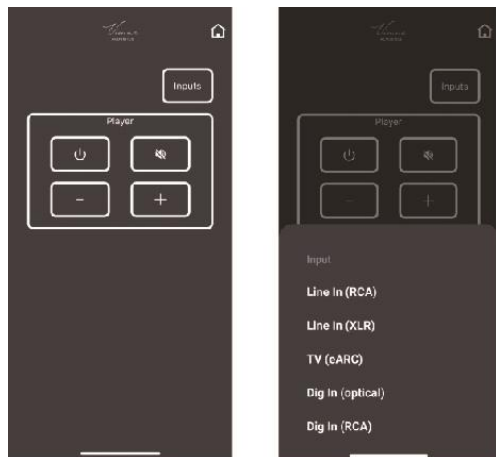


Vienna Acoustics アプリについて

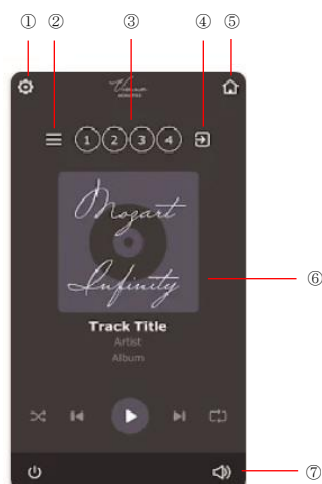
<基本メニュー>

インターネット接続に問題がある場合でも、オフラインモードで本機の操作をすることができます。

インターネット接続が切れると、メニューが自動的に表示されます。



<メインページ>



①	Setting	各種設定
②	Menu	メニュー
③	For Airable Radio / Podcasts	Airable Radio / Podcasts お気に入り割り当て
④	Input	入力選択
⑤	Home	ホーム画面
⑥	Currently Playing	再生中のトラック
⑦	Voilume Adjustment	ボリューム調整 ※どのページでも利用可

<各種設定>

Max Volume		音量レベルを最大に設定することをお勧めします。
Audio	Sound Processing	低音域/高音域の音量調整、左右のステレオの音量調整ができます。 本機はアンプ・ストリーミング・モジュールと調和するように開発/調整されていますので、絶対に必要だと感じた場合にのみ調整してください。
	Personalize Sound	周波数特性の補正・変更が可能です。本機はアンプ・ストリーミング・モジュールと調和するように開発/調整されていますので、絶対に必要だと感じた場合にのみ調整してください。
	Left / Right channerl selection	アクティブ側のスピーカーの現在の位置を表示します。左右の変更は、アクティブ側のスピーカーのリアパネルのスイッチ(④)を使用してください。
	Stereo / Mono output	ステレオ/モノラル出力を選択することができます。

Inputs	Input Trim	異なるソースの音量レベルを入力ごとに設定することができます。
	Input Sensitivity	ソースに応じて RCA/XLR 入力の入力感度を選択することができます。
Remote Control		Bluetooth リモコンを接続します。
Power Management	Network Standby	動作が検出されない場合、スピーカーがスタンバイ状態に戻るまでの時間を設定します。(オフ/5分/10分/15分/30分)
	Power Button Behavior	電源ボタンの動作を選択することができます。 <Power Save> : システムはパワーセーブモード(最小消費電力)に切り替わり、アクティブ側スピーカーの天面真ん中のタッチボタンからのみ再起動することができます。 <Network Standby> : どのデバイスからでもシステムを再起動することができます。
Language		英語/ドイツ語を選択します。 ※日本語は未対応です。
Device Name		本機の名前を修正することができます。
Network Wizard		すべてのネットワークの接続/設定を手動で設定できます。
Network Info		接続されているネットワークに関するすべての情報(IP/MASK/ゲートウェイ/DNS)を表示します。
Firmware Update		本機の新しいファームウェアが利用可能かどうか確認できます。 随時確認を行ってください。
Version		本機の現在のファームウェアのバージョンを表示します。
Factory Reset		停電の後など、ファクトリーリセットが必要な場合、こちらで実行可能です。 微調整(入力トリム設定、ラジオ/ポッドキャスト放送局の選択など)も工場出荷時の設定に戻りますので、ご注意ください。
AirPlay		AirPlay パスワードの設定

<メニュー>

Recently Played	最新のアプリ内のアクティビティを表示します。
UPnP	DLNA / UPnP サーバーとの接続を行います。
AirPlay	ステータスの表示/AirPlay 機能/セッションの再開
Spotify	Spotify が提供する Spotify に関する情報/説明
airable Radio	airable Radio で好きなラジオ局を選局できます。
airable Podcasts	airable Radio で好きなポッドキャストを選局できます。

トラブルシューティング

不具合が疑われる場合は、まずは全ての接続をご確認ください。また本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法もあわせてご確認ください。下記は、一般的な問題症状と考えられる解決策になります。下記対策後も動作に変化が見られない場合は、お買い上げいただいた販売店または株式会社ナスペックまでお問い合わせください。

症状	原因	対策
1.電源が入らない。	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。
2.音が出ない。	オーディオ信号が正しく入力/出力されていない。	全ての接続を確認してください。
	本体がオーバーヒートしている。	本体を冷ましてください。本体周りの風通しを確保していただくか、再生音量を下げてください。
	本体がミュートになっている。	音量設定を確認の上、VA アプリの右下スピーカーボタンを押して、ミュート状態を解除してください。
3.スピーカーの低音出力が弱い、または出ていない。	スピーカーの左右の設定が逆になっている。	アクティブ側のリアパネルで左右のチャンネルを正しく設定してください。
4.スピーカーから雑音が出る。	接続に問題があるか、ケーブル不良が発生している。	全ての接続、極性を確認してください。違うケーブルに交換してみてください。
5.ネットワークに繋がらない。	LAN ケーブルが正しく接続されていない。	LAN ケーブルが奥までしっかりと接続されているかどうか確認してください。
	ネットワーク機器の電源が入っていない。ネットワーク機器が完全に立ち上がっていない。	ネットワーク機器（ルーターやハブ、NAS 等）全ての本体電源が ON になっているか確認してください。ルーターやハブ、NAS などネットワーク機器は電源 ON から稼働するまで時間がかかる場合があります。電源を入れた後は 2~3 分程待ってから再度接続をしてください。 一度、本機や無線ルーター等全ての機器の電源を切り、電源を入れ直してください。その際、最初にルーターから電源を入れ、完全に稼働しているか確認してから他の機器の電源を入れてください。
	ネットワークが正常に接続されていない。	PC を同じネットワークに接続してインターネット（ウェブを閲覧する事）にアクセスできる事を確認してください。

Specification

形式	2.5way 3スピーカー バスレフ型
ユニット	TW / 28mm ハンドコートVAシルクドーム×1
	WF / 152mm コンポジットコーンウーハー×2 (フラットX4P + ファブリック・センター)
周波数特性	30Hz - 22,000Hz
能率	90dB (2.83V@1M)
インピーダンス	4Ω
消費電力	< 1.25W (スタンバイ時) / 最大 250W
アンプ出力	2×125W
アンプ	Class-D
ネットワーク接続	LANポート × 1 / Wi-Fi (2.4GHz + 5GHz)
アクティブ側スピーカー入力	eARC HDMI
	アナログ入力 : アンバランスRCA × 1, アンバランスXLR × 1
	デジタル入力 : Co-axial × 1, TOSLINK
D/A コンバーター	ESS ES9038Q2M
ストリーミング	AirPlay2, TIDAL Connect, Spotify Connect, Airable - radio index & podcasts,
	UPnP / DLNA, Roon ready, Qobuz (Roon, AirPlay, UPnP 経由)
オーディオ解像度/サンプリングレート	ストリーミング : 最大 384kHz / 24bit
	Optical 入力 : 最大 96kHz / 24bit
	Co-axial 入力 : 最大 192kHz / 24bit
	HDMI 入力 : 最大 192kHz / 24bit
サイズ (W×H×D)	216 × 972 × 343 mm (突起部、脚部含む)
重量 (1台)	20.5kg
カラー	Rosewood / Cherry / Piano Black / Piano White
付属品	マグネットタイプ・サラネット / アクティブ側、パッシブ側接続用スピーカーケーブル

お手入れ

スピーカーキャビネットは、柔らかい布を水で濡らして固く絞ってから拭いて下さい。

ワックスなどは使用しないで下さい。キャビネットはなめらかで堅い仕上げになっていますが、直射日光や高熱にさらされないように注意して下さい。

Vienna Acoustics は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。
また本製品の輸送に必要な購入時の箱・緩衝材は、必ず保管しておいてください。

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。
詳しくは、株式会社ナスペックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。
修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。

※修理についてのご質問・送り先は、本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **Vienna Acoustics** 日本輸入総代理店 株式会社ナスペックまで




株式会社ナスペック
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5

HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510

FAX : 058-268-7118

 : 0120-932-455

E-mail : support@naspecaudio.com

2024.4.5 (Ver 1.00)